

秘

海軍燃料廠研究部

研究實驗項目

昭和六年四月

海軍燃料廠
研究部
要
通
報

海軍燃料廠

216

目 次

昭和六年度海軍燃料廠事業訓令	1
石炭液化研究實驗	2
各種代用燃料に関する研究實驗	3
潤滑油に関する研究實驗	3
燃料の燃焼に関する研究實驗	4
航空船發動機用瓦斯体燃料に関する研究實驗	4
各種燃料規格及試験法に関する研究實驗	5
雑 研 究	5
委託 研 究	5

官房機密第二八二號 昭和六年度海軍燃料廠事業訓令

主要研究項目

官房機密第二八二號海軍燃料廠事業に関する訓令に基き下記の通定む

- (1) 石炭液化研究實驗
- (2) 各種代用燃料に関する研究實驗
- (3) 潤滑油に関する研究實驗
- (4) 燃料の燃焼に関する研究實驗
- (5) 航空船發動機用瓦斯体燃料に関する研究實驗
- (6) 各種燃料規格及試験法に関する研究實驗

石炭液化研究實驗

番號	項 目	目 的
1	石炭の液化に關する基礎的研究	石炭液化の工業化に資するため基礎的に研究を進めんとす
2	石炭液化に關する半工業的實驗	半工業的連續實驗裝置に就て液化實驗を行はんとす
3	水素の回収に關する研究	(1) 石炭液化反應の廢瓦斯より化學的方法を用ひ水素を回収せんとす
		(2) 同上に對する半工業的設備の新設及其の實驗
4	石炭液化廢瓦斯より物理的に水素の回収	石炭液化廢瓦斯より物理的方法を用ひ水素を回収せんとす
5	水素製造に關する實驗	水性瓦斯より水素の製造を行はんとす
6	素油の分溜法に關する研究實驗	液化生成素油の經濟的分溜法を研究實驗せんとす
7	「アスファルテン」及「ビッチ」の水素添加の研究	「アスファルテン」物質に水素を添加し液体燃料を得んとす

石 炭 液 化 研 究 實 驗

番 號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	石炭の液化に関する基礎的研究	石炭液化の工業化に資するため基礎的に研究を進めんとす	14-11	小川 技師 横田 機關少佐 高橋 技手 伊藤 技生 棟近 技生	研 究 科
2	石炭液化に関する半工業的實驗	半工業的連續實驗裝置に就て液化實驗を行はんとす	3-7	横田 機關少佐 田島 技手 中村 技生 芦浦 技生 桑原 技生	實 驗 科
3	水素の回収に関する研究	(1) 石炭液化反應の廢瓦斯より化學的方法を用ひ水素を回収せんとす	4-4	嘉納 機關中佐 藤本 囑託	研 究 科
		(2) 同上に對する半工業的設備の新設及其の實驗	5-12	並河 機關少佐 土井 技生 山本 技生	實 驗 科
4	石炭液化廢瓦斯より物理的に水素の回収	石炭液化廢瓦斯より物理的方法を用ひ水素を回収せんとす	5-11	横田 機關少佐 藤尾 技師	研 究 科 實 驗 科
5	水素製造に関する實驗	水性瓦斯より水素の製造を行はんとす	5-3	嘉納 機關中佐 並河 機關少佐 土井 技生	研 究 科 實 驗 科
6	素油の分溜法に関する研究實驗	液化生成素油の經濟的分溜法を研究實驗せんとす	5-10	横田 機關少佐 藤尾 技師	研 究 科 實 驗 科
7	「アスファルテン」及「ビッチ」の水素添加の研究	「アスファルテン」物質に水素を添加し液体燃料を得んとす	6-4	山口 技師 米谷 囑託	研 究 科

各種代用燃料に関する研究実験

番号	項目	目的	実験
1	植物質より代用燃料を得る研究	液体代用燃料を得んとす	6-
2	「メタノール」の合成に関する研究実験	半工業的装置により合成実験を行はんとす	3-
3	石炭の熱分解の研究	石炭の熱分解を研究し液体燃料を得んとす	6-
4	頁岩油低温「タール」水素添加	頁岩油及低温「タール」に水素を添加し有用なる燃料を得んとす	5-
5	低温乾溜の研究実験	考案せる特種の工業的装置を新設し低温「タール」を回収し且水性瓦斯を製造し水素の製造及「メタノール」の合成に資せんとす	4-
6	代用燃料の實用実験	代用品の有効なる燃焼方法につき研究せんとす	6-

各種代用燃料に関する研究実験

番号	項目	目的	実験
1	植物質より代用燃料を得る研究	液体代用燃料を得んとす	6-
2	「メタノール」の合成に関する研究実験	半工業的装置により合成実験を行はんとす	3-
3	石炭の熱分解の研究	石炭の熱分解を研究し液体燃料を得んとす	6-
4	頁岩油低温「タール」水素添加	頁岩油及低温「タール」に水素を添加し有用なる燃料を得んとす	5-
5	低温乾溜の研究実験	考案せる特種の工業的装置を新設し低温「タール」を回収し且水性瓦斯を製造し水素の製造及「メタノール」の合成に資せんとす	4-
6	代用燃料の實用実験	代用品の有効なる燃焼方法につき研究せんとす	6-

潤滑油に関する研究実験

番号	項目	目的	実験
1	潤滑油の性状に関する研究	各種原油より試製せる潤滑油の性能を明かにせんとす	5-
2	潤滑油の變質に関する研究	小型試験器により實驗し使用限度決定に資せんとす	5-
3	潤滑油の基礎的研究	化學構造と潤滑性能との關係を明かにせんとす	3-
4	航空機用潤滑油に関する研究	「カストル」油代用品を得んとす	6-
5	高速輕發動機用潤滑油の實用實驗	内火式機械に使用し實用上の性能判定の資料を得んとす	

各種代用燃料に関する研究實驗

番號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	植物質より代用燃料を得る研究	液体代用燃料を得んとす	6-4	藤 尾 技 師	研 究 科
2	「メタノール」の合成に関する研究實驗	半工業的裝置により合成實驗を行はんとす	3-7	別府機關中佐 江口 技師 井筒 技生	研 究 科 實 驗 科
3	石炭の熱分解の研究	石炭の熱分解を研究し液体燃料を得んとす	6-4	住 本 囑 託 根 本 技 生	研 究 科
4	頁岩油低温「タール」水素添加	頁岩油及低温「タール」に水素を添加し有用なる燃料を得んとす	5-8	小 川 技 師 高 橋 技 生 棟 近 技 生	"
5	低温乾溜の研究實驗	考案せる特種の工業的裝置を新設し低温「タール」を回収し且水性瓦斯を製造し水素の製造及「メタノール」の合成に資せんとす	4-9	並河機關少佐 土井 技生 山 本 技 生	實 驗 科
6	代用燃料の實用實驗	代用品の有効なる燃焼方法につき研究せんとす	6-4	秋 田 技 師 中 西 技 手	研 究 科 實 驗 科

潤滑油に関する研究實驗

番號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	潤滑油の性状に関する研究	各種原油より試製せる潤滑油の性能を明かにせんとす	5-4	景 平 囑 託 坂 本 技 生	研 究 科
2	潤滑油の變質に関する研究	小型試験器により實驗し使用限度決定に資せんとす	5-4	景 平 囑 託 藤 本 技 生	"
3	潤滑油の基礎的研究	化學構造と潤滑性能との關係を明かにせんとす	3-4	景 平 囑 託	"
4	航空機用潤滑油に関する研究	「カストル」油代用品を得んとす	6-4	景 平 囑 託 明 石 技 生	"
5	高速輕發動機用潤滑油の實用實驗	内火式機械に使用し實用上の性能判定の資料を得んとす		秋 田 技 師 中 西 技 手 小 杉 技 生	實 驗 科

燃 料 の 燃 焼 に 関 す る 研 究 實 験

番 號	項 目	的 的	實 驗 期
1	「デイゼル」機械燃料の燃焼に関する研究	燃料の有効なる使用に資せんとす	15—
2	航空機用燃料の燃焼に関する研究	氣笛内に於ける各種炭化水素の燃焼の状況を検し「ノッキング」に関する研究と相俟ちて有効なる使用に資せんとす	15—
3	罐用燃料の燃焼に関する研究	各種重油の燃焼現象を實驗研究し完全燃焼及淡煙焚火に資せんとす	15—
4	重油の噴霧に関する實驗	代表的各種噴燃器を使用し各種重油の噴霧状況を檢測せんとす	4—
5	燃焼の基礎研究	燃焼現象を明とし燃料の使用方法を合理化すんとす	5—

燃 料 の 燃 焼 に 関 す る 研 究 實 験

番 號	項 目	的 的	實 驗 期
1	「デイゼル」機械燃料の燃焼に関する研究	燃料の有効なる使用に資せんとす	15—
2	航空機用燃料の燃焼に関する研究	氣笛内に於ける各種炭化水素の燃焼の状況を検し「ノッキング」に関する研究と相俟ちて有効なる使用に資せんとす	15—
3	罐用燃料の燃焼に関する研究	各種重油の燃焼現象を實驗研究し完全燃焼及淡煙焚火に資せんとす	15—
4	重油の噴霧に関する實驗	代表的各種噴燃器を使用し各種重油の噴霧状況を檢測せんとす	4—
5	燃焼の基礎研究	燃焼現象を明とし燃料の使用方法を合理化すんとす	5—

燃 料 の 燃 焼 に 関 す る 研 究 實 験

番 號	項 目	的 的	實 驗 期
1	航空船用發動機瓦斯燃料の製造	輕質油の熱分解を行ひ瓦斯燃料を試製し其の實用價值を確めんとす	5—
2	分解揮發油の貯藏實驗	分解揮發油の貯藏中に於ける變化を検し規格改正に資せんとす	5—
3	「ノッキング」に関する研究	「ノッキング」に對する「アンチノック」劑の影響を検せんとす	5—
4	油類の熱分解の研究	水素又は水性瓦斯中に於ける熱分解を研究せんとす	6—
5	揮發油の品位に関する研究	航空機用として最良の効率を發揮すべき揮發油の品位を定めんとす	6—

航 空 船 發 動 機 用 瓦 斯 体 燃 料 及 揮 發 油 に 関 す る 研 究 實 験

番 號	項 目	的 的	實 驗 期
1	航空船用發動機瓦斯燃料の製造	輕質油の熱分解を行ひ瓦斯燃料を試製し其の實用價值を確めんとす	5—
2	分解揮發油の貯藏實驗	分解揮發油の貯藏中に於ける變化を検し規格改正に資せんとす	5—
3	「ノッキング」に関する研究	「ノッキング」に對する「アンチノック」劑の影響を検せんとす	5—
4	油類の熱分解の研究	水素又は水性瓦斯中に於ける熱分解を研究せんとす	6—
5	揮發油の品位に関する研究	航空機用として最良の効率を發揮すべき揮發油の品位を定めんとす	6—

燃料の燃焼に関する研究實驗

番號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	「デイゼル」機械燃料の燃焼に関する研究	燃料の有効なる使用に資せんとす	15-6	秋田技師 中山西縣技手 杉原技生	實驗科
2	航空機用燃料の燃焼に関する研究	氣笛内に於ける各種炭化水素の燃焼の状況を検し「ノッキング」に関する研究と相俟ちて有効なる使用に資せんとす	15-6	秋田技師 中山西縣技手 杉原技生	"
3	罐用燃料の燃焼に関する研究	各種重油の燃焼現象を實驗研究し完全燃焼及淡煙焚火に資せんとす	15-2	秋田技師 高橋關少佐 中機西技手 室谷本技生 笹本技生	"
4	重油の噴霧に関する實驗	代表的各種噴燃器を使用し各種重油の噴霧状況を檢測せんとす	4-7	高橋關少佐 中機西技手 室谷本技生 笹本技生	"
5	燃焼の基礎研究	燃焼現象を明とし燃料の使用方法を合理化すんとす	5-4	磯谷技生	研究科

航空船發動機用瓦斯体燃料及揮發油に関する研究實驗

番號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	航空船用發動機瓦斯燃料の製造	輕質油の熱分解を行ひ瓦斯燃料を試製し其の實用價值を確めんとす	5-6	嘉納機關中佐 福谷技生	研究科
2	分解揮發油の貯藏實驗	分解揮發油の貯藏中に於ける變化を検し規格改正に資せんとす	5-5	藤尾技師	"
3	「ノッキング」に関する研究	「ノッキング」に對する「アンチノック」劑の影響を検せんとす	5-7	秋田技師 中山西縣技手 杉原技生	實驗科
4	油類の熱分解の研究	水素又は水性瓦斯中に於ける熱分解を研究せんとす	6-4	山口技師 藤井技生	研究科
5	揮發油の品位に関する研究	航空機用として最良の効率を發揮すべき揮發油の品位を定めんとす	6-4	秋田技師	實驗科

第 6 章 関数と微分の基礎

[illegible]

品名	単位	数量	単価	金額
事務用紙(白) 1000枚入り	箱	10	1000	10000
事務用紙(白) 500枚入り	箱	20	500	10000
事務用紙(白) 250枚入り	箱	40	250	10000
事務用紙(白) 100枚入り	箱	100	100	10000
事務用紙(白) 50枚入り	箱	200	50	10000
事務用紙(白) 25枚入り	箱	400	25	10000
事務用紙(白) 10枚入り	箱	1000	10	10000
事務用紙(白) 5枚入り	箱	2000	5	10000
事務用紙(白) 2枚入り	箱	5000	2	10000
事務用紙(白) 1枚入り	箱	10000	1	10000

各種燃料規格及試験法に關する研究實驗

番 号	項 目	目 的
1	燃料及潤滑油類の規格改正に関する研究	規格中不合理のものを改正せんとす
2	石炭及「ピッチ」の試験法の制定	一般試験法を制定せんとす
3	油類試験法に関する研究	試験法の改正を行はんとす

雜 研 究

番 號	項 目	目 的
1	瓦斯分析法の研究	主として炭化水素及水素の測定法の改良を行はんとす
2	煉炭貯藏に關する研究	煉炭の適當なる貯藏法の實驗調査

委 託 研 究

番 号	項 目	目 的
1	原油の分類法	各種原油の分類を明とし之が使用を合理化せんとす

各種燃料規格及試験法に関する研究實驗

番號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	燃料及潤滑油類の規格改正に関する研究	規格中不合理のものを改正せんとす	6-4	委 員 會 (主 別府機關中佐)	
2	石炭及「ピッチ」の試験法の制定	一般試験法を制定せんとす	14-1	委 員 會 (主 小川技師)	
3	油類試験法に関する研究	試験法の改正を行はんとす	5-4	委 員 會 (主 秋田技師)	

雑 研 究

番號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	瓦斯分析法の研究	主として炭化水素及水素の測定法の改良を行はんとす	14-9	山 口 技 師 北 村 技 生	研 究 科
2	煉炭貯藏に関する研究	煉炭の適當なる貯藏法の實驗調査	15-9	委 員 會 (主 山口技師)	

委 託 研 究

番號	項 目	目 的	實驗開始	擔 當 者	施行場所
1	原油の分類法	各種原油の分類を明とし之が使用を合理化せんとす	6-4	小 松 囑 託	京 都 帝國大學